

花巻市民からのメッセージ



大迫町・ベルンドルフ市友好会会長
藤館 昌弘 さん

温かい心の通い合い続けて50年。多くの人に感謝

50年前の秋晴れの10月12日、まだ未舗装の大迫町のメインストリートに駐日オーストリア大使、ベルンドルフ市長シュタイナー氏、そして大迫町長・村田柴太氏はじめ国・県関係者などが約1千人で行進し、記念式場の大迫小学校の校庭に姿を現した。迎える観衆は4千人、当時の大迫町の人口の約半分の人たちが集った。

あれから50年、ベルンドルフ市と長い間友好を育んできた大迫町民にとってことは特別な年だ。両市(町)民は5年毎の相互の定期的な交流のほか、個人同士の付き合いも深く、互いに親密度を増し、濃い親戚付き合いのように親しみ、年月は経過した。このように長くお付き合いできたのは両市(町)民の温かい心の通いがそうさせたのだと思っている。両市町を結びつけた村田柴太氏とベルンドルフ市代々の市長、そしてなんといっても当初から大迫をこよなく愛し続ける「ベルンドルフ・花巻友好都市協会」会長ヨゼフ・ビュクセンマイスター氏、さらに副会長ギュンター・エルマー氏を我々はいつまでも忘れてはならない。



日本文化を紹介したい

平成27年度派遣研修生
宮野目中学校 2年
佐藤 結実 さん

10月31日から11月9日までの日程で、ベルンドルフ市への派遣研修に参加させていただきます。

ベルンドルフ市に行ったことがある父から、ベルンドルフ市の美しい街並みやおいしい食べ物などの話を聞いていたので、実際に自分も見て、体験したいと思い、派遣を希望しました。

今回の研修で多くのことを学びたいと思っています。特に、外国の食品やその材料に興味があります。ベルンドルフ市ではどんなものが収穫され、どんなものを食べているのか、日本との違いを学んできたいと思います。

研修期間中は、ホームステイをすることになりますが、習字や折り紙など、日本の文化を紹介しながら、楽しく交流できたらと思っています。

両市の親しい関係を実感

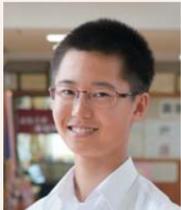
平成26年度派遣研修生
東和中学校 3年
阿部 魁徒 さん

昨年の派遣研修で、ベルンドルフ市に行かせていただきました。

生活様式の違いなどに戸惑うこともありましたが、ホストファミリーがとても親切にしてくれて、楽しく過ごすことができました。

現地に、「大迫」と漢字で書かれた看板があり、ベルンドルフ市と花巻市がとても親しい関係が続いていることを実感しました。この関係を、友好都市提携50周年を機に、多くの人に知ってもらいたいと思います。

ことは、受け入れる側として、ベルンドルフ市からの派遣研修生を家にお迎えします。花巻でいい思い出をつくってもらえるように、温かくお迎えしたいと思います。



=ベルンドルフ市を紹介=

●パネル展示

9月11日(金)~13日(日)に市民体育館で開催される「特産品フェア」において、ベルンドルフ市コーナーを設け、同市との交流をパネルなどで紹介します。

●市ホームページ

50周年記念事業を市ホームページで紹介しています(市ホームページ内「ベルンドルフ市」で検索)。

- ▽10月12日(月・祝)
市民交流会：輪踊りなどを通じて交流。どなたでも参加できます
記念植樹：ベルンドルフ市から贈られたブドウの苗木を植樹
 - ▽10月13日(火)
記念式典・祝賀会
 - ▽10月14日(水)
被災地視察：沿岸被災地を訪問
 - ▽10月14日(水)
市内視察：伝統文化の体験、特産品の紹介など
- このほか、毎年本市を訪れているベルンドルフ市のギムナジウム校の生徒がことしも本市を訪れ、記念式典への参加、市内学校の訪問、ホームステイ交流などを行います。

ベルンドルフ市からのメッセージ

友情と文化交流の懸け橋 さらなる発展を願う

友好都市提携50周年を迎えるに当たり、花巻(大迫)とベルンドルフが築き上げてきました友好都市の歴史を改めて振り返ることができ、大変うれしく思っております。

このパートナーシップは、1964年、オーストリア連邦中央政府の推薦に基づいて、両都市間で確認を取りながら、1965年10月12日に友好都市として正式に締結されました。

故・村田町長および故・シュタイナー市長、両氏のご尽力なしにはこの提携は実現されなかったものと、感謝しております。

友好都市協会長ビュクセンマイスター氏や副会長エルマー氏をはじめ多くの友情が両都市間で生まれ、現在も行き来が続いています。また長年にわたる交換留学活動も、他の友好都市の手本となっているようです。

日本とオーストリア間の友情と文化交流の懸け橋として、この先もさらに交流が発展する足掛かりとなることを願っています。



ベルンドルフ市長
ヘルマン・
コツリック さん

50周年記念式典への参加は大きな名誉

大迫とのご縁は1975年からになります。

たくさんの方々と知り合い、その中には、さらに友情が生まれ、現在も連絡を取らせていただいている友人たちがいます。

花巻・大迫で催される50周年記念式典に参加できることは私にとって楽しみであり、大変名誉なことです。

ベルンドルフ・花巻友好都市協会会長
ヨゼフ・ビュクセンマイスター さん



①昭和40(1965)年10月12日に大迫小学校グラウンドで開かれた友好都市提携記念式典の様子。町民4千人が参列した②恒久的な都市友好関係の盟約を決議したベルンドルフ町議会決議書③④⑤平成26年度のベルンドルフ市生徒の受け入れ事業の様子



地域に根差した相互交流

ベルンドルフ市との交流は、本市が提携している国際姉妹友好都市の中で最も古く、全国的に見ても長い歴史があります。

昭和41(1966)年、大迫高校の生徒1人と親善登山隊10人をベルンドルフ市に派遣したのを皮切りに、両市(町)民同士の交流が本格的に開始。以来、青少年派遣研修、ギムナジウム校(日本の中学校・高校に当たる学校)生徒の受け入れなど、青少年の相互理解に力を注ぐ一方、登山やスキーでの交流、ワイン留学生の派遣や郷土芸能の紹介など、地域の風土に根差した幅広い交流を行っています。

ことしの記念事業

友好都市提携50周年を迎えることは、ベルンドルフ市から、公式訪問団と市民訪問団を本市に迎え、記念式典を開催します。

また、この記念式典に合わせ、市民同士の交流や記念植樹などを行い、さらなる交流と末永い友好を誓います。

●主な日程